

## 熊本大学学術リポジトリ

## Kumamoto University Repository System

Title	倒れし杉 : 長詩 : 文苑
Author(s)	白月
Citation	龍南會雜誌, 121: 62-62
Issue date	1907-06-17
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/6041">http://hdl.handle.net/2298/6041</a>
Right	

たのゝき眠り村人の  
すべてに落るこの夕べ  
わ嗚呼れ一人、古城の  
石に座りて物思ひ

疑ひ悶ね悲哀の  
胸の惱みの消ねかくに  
麥の肥わたる穂をつみて  
息吹き入れて吹きて見るかを。

### 倒れし杉

山氣、尾の上の雲をどぎ  
雨呼び起す谷の上や  
神代に根をや下したる  
大杉の木も倒れたり

地には巖を根に抱き  
天には矛をさよげたる

巨人の影を星の夜に  
誰か再びすかし見む

あゝ白雲を身にまとひ  
たぢず臆せず動きなく  
朝日に立ちし雄すがたは  
冬の銀杏にはこりくを

今、銀杏の樹若葉して  
梢に清き雫あり

倒れし杉は夏ぐさの  
深さが中に埋もれぬ。